

## 1 コシヒカリの生育状況

平年に比べ、草丈は並、m<sup>2</sup>当たり茎数は少なく、葉色は並みですが、圃場による差が大きくなっています。現在の生育の進みから、幼穂形成期は7月8日～10日頃（5月12日植の場合）と予想されます。

表1 コシヒカリの生育状況（7月6日調査）

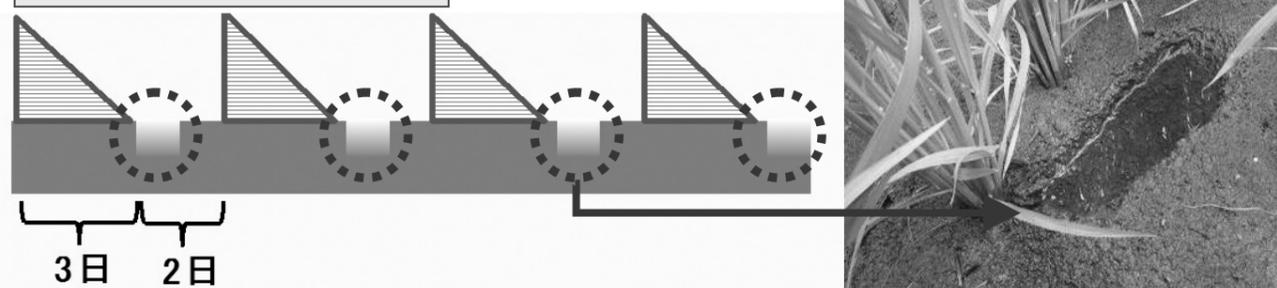
	草丈 (cm)	茎数		葉令	葉色	幼穂形成期
		本/株	本/m <sup>2</sup>			
令和2年	68.6	20.4	437	11.9	4.0	(7月8～10日)推定
令和元年	67.3	23.6	505	11.6	4.1	7月10日
平年	68.6	23.4	468	11.8	4.0	7月10日

平年値は、アルプス米標準田 H22～R 元の平均値

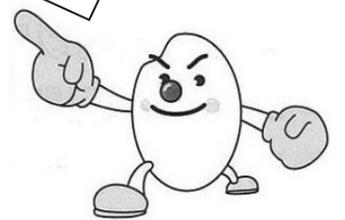
## 2 出穂期までの水管理 ～幼穂が成長する時期です。乾かしすぎない。～

幼穂形成期から出穂期までは『飽水管理』を行い、葉色の急激な低下を防ぎましょう。

飽水管理のイメージ



基肥一発肥料の溶出時期です。乾かしすぎに注意しましょう。



○飽水管理は『3cm程度入水→自然落水→（足跡水がなくなる前に：上写真を参照）入水』を繰り返しましょう。

○4日以上湛水状態が続く圃場では強制落水しましょう。

○フェーンが予想される場合は、水不足にならないよう、あらかじめ入水しましょう。

○下流域まで十分に水が行き渡るようかけ流しを止め、地域での計画的な用水の利用に努めましょう。



【YouTube】  
10 中干し後の水管理をチェック！

## 3 コシヒカリの穂肥 ～イネの姿を見て的確な穂肥施用を。～

### (1) 基肥一発肥料体系

規定量を施用している場合は、穂肥施用の必要はありません。ただし、出穂7日～3日前（5月12日植えの場合は、7月23日～29日頃）に、葉色が4.0（砂壤土4.2）未満と薄い場合は、「追肥3号」で「10a当たり5～7kg（砂壤土は10a当たり7～10kg）」施用しましょう。

【YouTube】  
11 穂肥散布のポイント



【YouTube】  
12 品種別穂肥施用時期

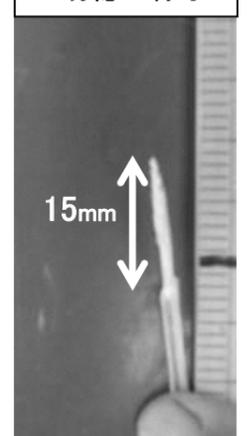
### (2) 分施肥体系

圃場の生育状況と幼穂の長さを必ず確認して、穂肥を施用しましょう。

表2 生育量別穂肥の目安（穂肥は、追肥3号を施用）

1回目穂肥施用時の生育量と施用量 (幼穂長15mm：幼穂形成期(幼穂長2mm)から8日後)					2回目穂肥	
生育量	草丈	葉色	施用時期	10a当たり施用量	施用時期	10a当たり施用量
適正	82cm以下	3.6	7/16～18	10kg	1回目穂肥の7日後	10～13kg (砂壤土13kg)
やや過剰	82～87cm	3.8程度	7/19～23	7kg以内		10kg
過剰	87cm以上	4.0以上	施用しない		出穂7日前 (7/23～25)	7～10kg

1回目穂肥時の幼穂の様子



## 4 斑点米防止対策 ～適期防除の徹底と適切な雑草対策で斑点米を撲滅～

例年「カメムシ類による斑点米」が格下げの主な要因となっています。てんたかく81は3回の基本防除と雑草対策を徹底し、斑点米の被害を防止しましょう。

### (1) 管内のカメムシ発生状況（雑草地・畦畔等）

7月1日に管内の雑草地や畦畔等ですくいとり調査を行った結果、今年もカメムシ類の確認地点率は高く、1地点当たりの捕獲頭数も多い状況でした。

今後も、雑草の穂が出ないように草刈りを徹底しましょう。また、やむを得ず、穂が出た雑草を刈る場合は、防除の直前に行いましょう。

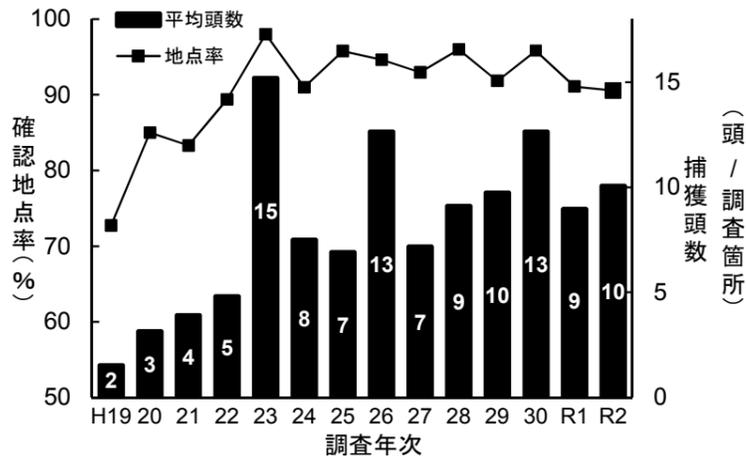


図 斑点米カメムシ類の確認地点率と平均頭数 (畦畔・雑草地 6月下旬)

### 斑点米



7/6付けで「カメムシ注意報」が発令されています。今年も斑点米カメムシ類の多発に注意です！



目安として、玄米 1,000 粒に 2 粒以上混ざると 2等以下に格下げとなります。

【YouTube】  
14 本田基本防除



### (2) てんたかく81の防除時期のめやす

防除時期		出穂始め (穂が2～3割見られたら)	穂揃期 (穂が9割見られたら)	傾穂期 (穂揃期の7日後)
田植え時期	予想出穂期			
4月末	7月11日頃	7月7～9日	7月14～16日	7月21～23日
5月連休	7月14日頃	7月10～12日	7月17～19日	7月24～26日
粉剤		バリダジョーカー粉剤 DL 4kg/10a(収穫14日前まで)	ラブサイドキラップ粉剤 DL 4kg/10a(収穫14日前まで)	スタークル粉剤 DL 3kg/10a(収穫7日前まで)
液剤		バリダシン液剤5 1,000倍(収穫14日前まで) + MR. ジョーカーEW 2,000倍(収穫14日前まで) 散布量: 150ℓ/10a	ラブサイドフロアブル 1,000倍(収穫7日前まで) + キラップフロアブル 1,000倍(収穫14日前まで) 散布量: 150ℓ/10a	スタークル液剤 10 1,000倍(収穫7日前まで) 散布量: 150ℓ/10a
対象 病害虫		紋枯病、カメムシ類、 ウンカ類、ツマグロヨコバイ	いもち病、カメムシ類、 ウンカ類	カメムシ類、ウンカ類、 ツマグロヨコバイ

※田植時期等によって生育差があるため、防除時期は生育状況を確認して決めましょう。

※防除間隔は7日を基本とし、10日以上あけないようにしましょう。

※薬剤は決められた量や濃度を守り、畦畔や株元にも十分かかるように散布しましょう。

※農薬を散布する際は、周辺の野菜等他作物や住宅地への飛散防止に努めましょう。

「防除日が遅くなった」、  
「防除間隔が長くなった」等、  
防除時期のずれが斑点米の発生につながります！

## 5 コシヒカリの随時防除～紋枯病・カメムシの常発地は適切に随時防除～

防除時期	紋枯病の常発地 (出穂10日前頃)	紋枯病、カメムシの常発地 (出穂始め)
粉剤	バリダシン粉剤DL 4kg/10a(収穫14日前まで)	バリダジョーカー粉剤DL 4kg/10a(収穫14日前まで)
液剤	バリダシン液剤5 1,000倍 (収穫14日前まで) 散布量: 150ℓ/10a	バリダシン液剤5 1,000倍(収穫14日前まで) + MR. ジョーカーEW 2,000倍(収穫14日前まで) 散布量: 150ℓ/10a
対象 病害虫	紋枯病等	ウンカ類、ツマグロヨコバイ、カメムシ類、紋枯病等

☆栽培履歴の記帳と農業生産工程管理(GAP)のチェックは忘れずに！